

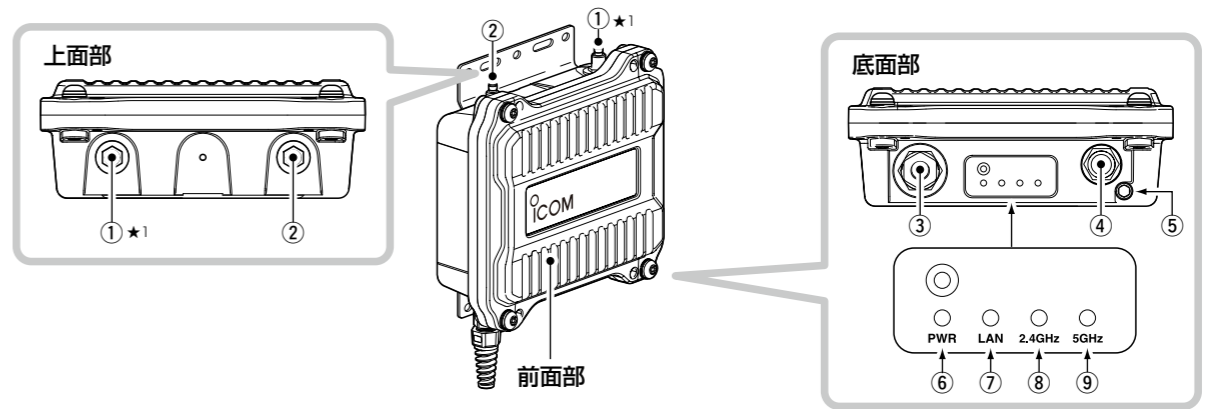
このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 本製品は、[IEEE802.11ac]規格、[IEEE802.11n]規格に準拠し、5.2/5.3/5.6GHz帯と2.4GHz帯の2波同時通信ができる屋外型ワイヤレスアクセスポイントです。
 本書では、本製品の基本的な接続や設定、初期化方法などについて説明しています。

本製品との接続と設定画面へのアクセスについて

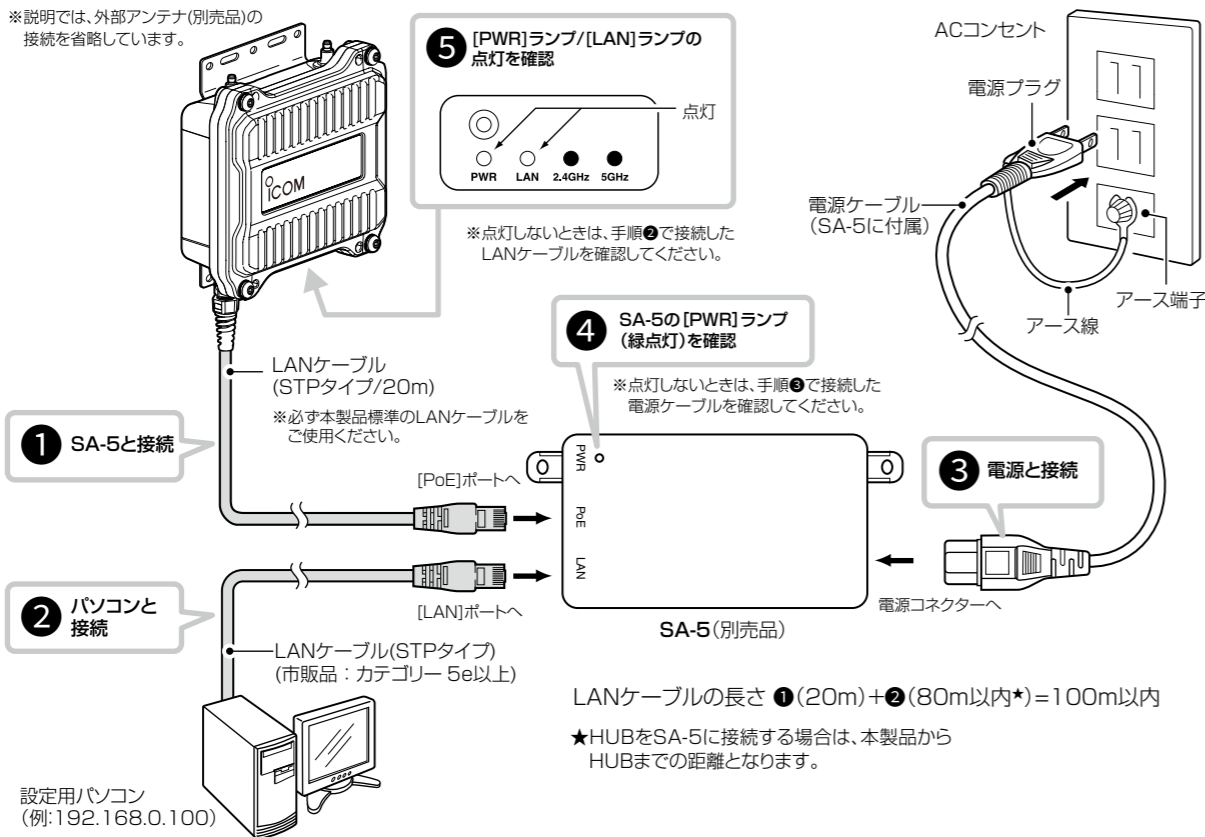
- 1 本製品の設定に使用するパソコンに、固定IPアドレス(例: 192.168.0.100)を設定します。
- 2 設定用のパソコンと本製品を次の手順で接続します。

本製品の出荷時、または全設定初期化時の設定値
 IPアドレス : 192.168.0.1
 管理者ID : admin(変更不可) 管理者パスワード : admin
 ※不正アクセス防止のため、管理者パスワードは、容易に推測されない複雑なものに必ず設定してください。

各部の名称と機能



- ① **アンテナコネクタ**：ANT1(避雷器内蔵)*1
 - ② **アンテナコネクタ**：ANT2(避雷器内蔵)
弊社指定のアンテナ(別売品)を接続します。
 - ③ **LANケーブル**
SA-5(別売品)、または[IEEE802.3af]対応のHUBなどと接続します。
 - ④ **[CONSOLE]ポート**
本製品の設定にターミナルソフトウェアを使用するとき、設定用ケーブルを接続します。
※設定用ケーブルは、販売していません。
必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ⑤ **アース端子**
本製品のケース(筐体)を接地するとき、アース線(付属品)を接続します。
 - ⑥ **[PWR]ランプ**
緑点灯：本製品に電源が供給されているとき
赤点滅：IPアドレス衝突
橙点灯：オンライン更新ファームウェア検知時
橙点滅：起動時
 - ⑦ **[LAN]ランプ**：有線LANの接続状態
緑点灯：リンク時 (1000BASE-T)
緑点滅：データ通信中 (1000BASE-T)
橙点灯：リンク時 (10BASE-T/100BASE-TX)
橙点滅：データ通信中 (10BASE-T/100BASE-TX)
消 灯：リンク未確立時
 - ⑧ **[2.4GHz]ランプ**：2.4GHz帯(無線1)の通信状態
緑点灯：端末が1台以上帰属時*2
橙点灯：2.4GHz帯側有効時 帰属端末なし
消 灯：2.4GHz帯側無効時
 - ⑨ **[5GHz]ランプ**：5GHz帯(無線2)の通信状態
緑点灯：端末が1台以上帰属時*2
橙点灯：5GHz帯側有効時 帰属端末なし
橙点滅：DFS動作による無線動作待機中
消 灯：5GHz帯側無効時
- ★1 アンテナを1本だけ使用する場合は、ANT1側に接続(別紙の設置工事説明書)して、アンテナの設定を変更してください。
設定については、裏面で説明しています。
★2 無線LANユニット有効時、本製品と通信できる無線LAN端末が存在しない、または無線通信しない状態がつづく、と、橙点灯に変わります。
なお、橙点灯に変わるまでの時間は、通信状態によって異なります。



- 3 本製品に接続されたパソコンのWWWブラウザから、次の手順で設定画面にアクセスします。
※出荷時のIPアドレス(192.168.0.1)を入力した場合を例に説明します。

- ① WWWブラウザを起動し、WWWブラウザのアドレスバーに「http://本製品のIPアドレス/」を入力します。
- ② [Enter]キーを押します。
[ユーザー名]と[パスワード]を求める画面が表示されます。
- ③ [ユーザー名]欄に「admin」、[パスワード]欄に「admin」(出荷時の設定)を入力します。
- ④ <OK>をクリックすると、設定画面が表示されます。

WWWブラウザについて
 Microsoft® Internet Explorer 11で動作確認しています。
 設定画面が正しく表示できるように、WWWブラウザのJavaScript®機能、およびCookieは有効にしてください。
 ※Microsoft® Internet Explorer 8以前をご使用の場合は、正しく表示できないことがあります。



設定画面の名称と機能

本製品の設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。
 ※設定画面のオンラインヘルプを確認するときは、設定項目の上にマウスポインターを移動して、「?」が表示されたら、クリックしてください。



不正アクセス防止のアドバイス
 本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。
 数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせる長く複雑なものにされることをおすすめします。
 ※管理者パスワードの変更については、本書(裏面)で説明しています。

- ① **ホームページのリンク**
インターネットに接続できる環境で、アイコンをクリックすると、弊社のホームページを閲覧できます。
- ② **設定画面選択メニュー**
各設定画面を用途別に、メニューとしてまとめています。
メニュー名をクリックすることにより、各設定画面へのリンクを開け開けます。
- ③ **設定画面表示エリア**
設定画面選択メニューで選択されたタイトルの画面を表示します。
※左図は、「ネットワーク設定」メニューの「LAN側IP」をクリックしたときに表示される画面です。
- ④ **設定ボタン**
設定した内容の登録や取り消しをします。
※<登録>をクリックして、「再起動が必要な項目が変更されています。」と表示されるときは、<再起動>をクリックします。
表示された画面にしたがって操作します。
再起動中は、下記を表示します。

再起動しています。
 本体の起動を確認後、[Back]をクリックしてください。

※再起動後に、設定した内容が有効となります。
 ※再起動が完了するまで、[Back]と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックしても、設定画面に戻りません。
 しばらくしてから再度操作してください。
 ※表示画面によって、表示されるボタンの種類や位置が異なります。

無線LAN端末と接続するには

Windows 10標準のワイヤレスネットワーク接続を例に、無線で本製品に接続するまでの手順を説明します。
※パソコンの設定により画面の表示や手順が異なる場合がありますので、ご使用になるパソコンの画面表示や取扱説明書にしたがって操作してください。

- 1 本製品の電源を入れ、無線LANに対応するパソコン(無線LAN 端末)の電源を入れます。
- 2 [ネットワークアイコン]をクリックします。
 クリック
- 3 本製品に設定された[SSID]を選択し、〈接続〉をクリックして、表示される画面にしたがって操作します。
 ①選択する ②クリック

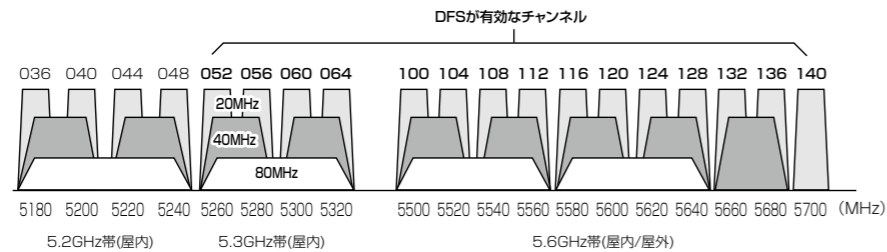
※不正アクセス防止のため、必ず暗号化を設定してください。暗号鍵(WEPキー)共有鍵(Pre-Shared Key)は、容易に推測されないものにしてください。数字とアルファベット(大文字/小文字)を組み合わせた複雑なものにし、さらに定期的に暗号鍵/共有鍵を変更されることをおすすめします。

DFS機能とチャンネルの自動設定について

DFS機能は、5.3/5.6GHz帯のチャンネルを設定したときだけ有効になり、気象レーダーなどによる電波干渉を自動で回避します。

※DFS機能が有効なチャンネルが選択されているとき、無線AP間通信機能は動作しません。

設定方法などの詳細については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

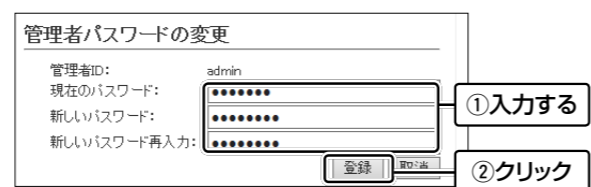


- ◎ 本製品の設定画面で5.3/5.6GHz帯(052~140)のチャンネルを選択して、再起動すると、電源投入直後の約1分は気象レーダーの電波を検出します。
電波検出中は、[5GHz]ランプが橙点減して、本製品へのアクセスをすべて停止します。
本製品の起動中、または運用中に気象レーダーの電波を検出したときは、自動的に電波干渉しないチャンネルに変更されます。
- ◎ 5.3GHz帯(052~064)のチャンネルでレーダーを検出して、変更されたチャンネルが5.2GHz帯のチャンネル(036~048)の場合は、DFS機能を停止します。
- ◎ 5.6GHz帯の全チャンネル(100~140)でレーダーを検出した場合は、[5GHz]ランプが橙点減すると同時に、本製品の「無線LAN」画面に「使用中チャンネル:スキャン中」が表示され、無線通信できなくなります。
このような場合は、約30分放置することで、検出チャンネルリストが初期化され、再度使用できます。
※無線通信できなくなってから30分経過しない状態で、電源を再投入する、または設定内容の変更などで再起動すると、その時点から約30分無線通信できませんのでご注意ください。
その場合、5.6GHz帯以外のチャンネルを使用できます。
- ◎ 40/80MHz帯域幅を設定した場合、上図のようにチャンネルを束ねて使用します。
※レーダーの電波を検出した場合、40MHz帯域幅では2つ、80MHz帯域幅では4つのチャンネルが約30分利用できなくなります。
- ◎ 本製品の設定画面でチャンネルを「自動」に設定すると、本製品の起動時にほかの無線LAN機器からの電波干渉が少ないチャンネルに自動で設定します。
※「自動」が選択できるのは、20MHz帯域幅だけです。
※本製品の起動時に、DFS機能が無効なチャンネルが選択された場合は、その後、運用中に別のチャンネルに変更されることはありません。
ただし、DFS機能が有効な5.3/5.6GHz帯のチャンネル(052~140)が選択された場合は、運用中でもレーダーを検出すると、さらにチャンネルが変更されることがあります。
※「自動」に設定した場合、本製品が使用中のチャンネルは設定画面上で確認できます。
※チャンネル自動設定とRS-AP3(弊社製無線アクセスポイント管理ツール)は併用できません。

管理者パスワードの変更について

不正アクセス防止のため、「管理」メニュー、「管理者」の順にクリックして、管理者パスワードを変更してください。

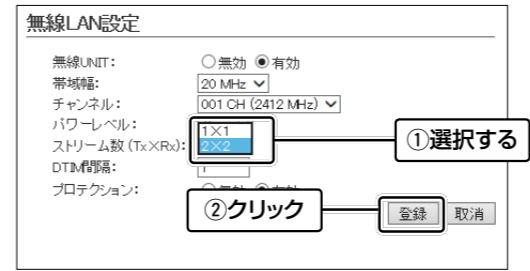
※大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号(半角31文字以内)で入力します。



アンテナ数を設定するときは

無線1(2.4GHz帯)で通信する場合を例に説明します。

- 1 「無線設定」メニュー、「無線1」の順にクリックします。
- 2 接続するアンテナ数に応じて、ストリーム数(Tx×Rx)を設定します。
アンテナを1本だけ接続するときは、「1×1」を選択します。



- 3 〈再起動〉をクリックします。
表示される画面にしたがって、本製品を再起動します。

リセット(再起動)について

本製品の再起動が必要な場合は、本製品のLANケーブルを抜き差しするか、SA-5(別売品)や[IEEE802.3af]対応のHUBに接続された電源を抜き差ししてください。

- ※電源の入れなおしができない環境では、下記の方法で再起動できます。
 - ◎本製品の設定画面にアクセスして、「管理」メニューの「再起動」画面を使用する
 - ◎Telnet、またはターミナルソフトウェアから、restartコマンドを使用する

全設定の初期化について

全設定を工場出荷時の状態に戻すときは、WWWブラウザから本製品の設定画面にアクセスするか、Telnetでアクセスして全設定を初期化してください。

※本製品に設定されたIPアドレスが不明な場合は、本製品の[CONSOLE]ポートに接続されたパソコンからターミナルソフトウェアでアクセスしてください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

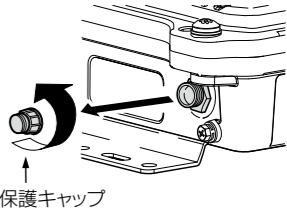
アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

201902
株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977) 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5 URL : <https://www.exseli.com/>

ターミナルソフトウェアで設定するには

本製品のIPアドレスが不明な場合など、ターミナルソフトウェアを使用して接続する手順について説明します。

※設定用ケーブルが必要です。
販売はしておりませんので、必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- ①電源供給に使用しているSA-5(別売品)、または[IEEE802.3af]対応のHUBの電源をはずします。
- ②[CONSOLE]ポートの保護キャップ(右図)をはずします。

- ③本製品の[CONSOLE]ポートとパソコンの[COM]ポートを設定用ケーブルで接続します。
- ④本製品に電源を供給し、パソコンからターミナルソフトウェアを起動します。
- ⑤下記を設定して、[ENTER]キーを押します。
[接続方法]の選択 : 設定用ケーブルを接続しているCOMポートの番号を指定
通信速度 : 115200(ビット/秒)
データビット : 8
パリティ : なし
ストップビット : 1
フロー制御 : なし
- ⑥AP-900 #と表示されたことを確認します。
※アクセス後に[Tab]キーを押すと、本製品で使用できるコマンドの一覧が表示されます。

Telnetで接続するには

お使いいただくときは、「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」から、「Telnetクライアント」を有効にしてから、下記の手順で操作してください。

Windows 7の場合

- ①[スタート](ロゴボタン)から[プログラムとファイルの検索]を選択します。
名前欄に「telnet.exe」と入力し、[Enter]キーを押します。
※Windows 8.1やWindows 10の場合は、[スタート](ロゴボタン)から[ファイル名を指定して実行]を選択します。
- ②Telnetクライアントが起動しますので、下記のように入力します。
Microsoft Telnet>open 本製品のIPアドレス
(入力例 : open 192.168.0.1)
- ③下記を入力して[Enter]キーを押すと、ログインできます。
login : admin
password : admin
※adminは、本製品の出荷時や全設定初期化時のPasswordです。
※passwordは、本製品の設定画面にある「管理」メニューで設定された内容と同じです。
- ④ログインメッセージ(AP-900 #)が表示されます。
※アクセス後に[Tab]キーを押すと、本製品で使用できるコマンドの一覧が表示されます。
コマンド名の入力についで[Tab]キーを押すと、サブコマンドの一覧を表示します。

高品質がテーマです。

A7243W-2J-2 Printed in Japan © 2015-2019 Icom Inc.